

2023 年度スキルアップ研修（日本目録規則 2018 年版）コース案内

1. 概要

| | |
|--------|--|
| 研修コース名 | スキルアップ研修（日本目録規則 2018 年版） |
| 期間（回数） | 全 5 回。以下を予定しています。 【第 1 回】 6/15（木）、【第 2 回】 6/22（木）、【第 3 回】 7/6（木）、【第 4 回】 8・9 月頃、【第 5 回】 10・11 月頃（第 4 回と第 5 回は NACSIS-CAT における NCR2018 適用の検討状況をもとに決定します） |
| 曜日・時間 | 木曜午前 10 時-12 時 |
| 担当者 | 岡田 智佳子（大学図書館支援機構、武蔵野大学・聖徳大学非常勤講師） |

2. 詳細

| | |
|--------|---|
| 到達目標 | 「日本目録規則 2018 年版」（以下「NCR2018」）が刊行されて 4 年経ちましたが、今なお図書館現場からは「よく分からない」という声を聞きます。一方で、国立国会図書館の JAPAN/MARC や図書館流通センターの TRCMARC など、国内主要 MARC は既に NCR2018 適用済で、NACSIS-CAT も 2024 年度初めの適用に向けて検討が進んでいます。 本講座では、NCR2018 を参照するために知っておくべき基礎知識と、NCR2018 の内容との 2 段階の構成により、「NCR2018 が分かる」ようになることを目的とします。 |
| 各回内容 | 前半の 2 回では、NCR2018 を参照するための基礎知識を学びます（=基礎編）。後半の 3 回では、NCR2018 の各条項を具体例と共に学びます（=実践編）。 なお、本講座では講義の録画は行いませんので、欠席された場合は、講義資料の提供のみとなります。 第 1 回 NCR2018 の基礎知識①「FRBR モデル」 第 2 回 NCR2018 の基礎知識② 「NCR2018 の特徴-NCR1987 年版との違いを中心に」 第 3 回 NCR2018 を知る① 「書誌の視点から-体現形・表現形の記録」 第 4 回 NCR2018 を知る② 「典拠の視点から-著作及び第 2 グループ」 第 5 回 NCR2018 を知る③ 「NACSIS-CAT における NCR2018 適用について」 |
| 実施形態 | オンライン形式 |
| 研修報告大会 | 12 月中旬頃に開催（登壇者を研修内で募ります） |

3. 受講条件

| | |
|--------|-----------------------------------|
| 資格・経験等 | NCR2018 を基礎から学びたい人。資格・経験は問いません。 |
| 環境等 | インターネットに接続できる環境とブラウザ（Zoom を使用します） |